

神原芳野 （たかきよ） 國學者。天保二年江戸日本橋住吉町生れ、明治十四

年十二月一日歿（八三一一）。字作良、蒲梅高藏、伊場金太郎。號住

園、櫻舎、琴洲、稻住園主人、高齋、雲錦堂等。伊能穎則の國學を學

び、安政末本所石原の子弟を教授。明治二年昌平學校出仕、翌年大學

出仕、中助教、四年文部省に轉じ權大助教、六年權大講義。八年大觀

簞溪、西村茂樹、伊藤圭介、那珂通高、依田學海等と洋々社を興じ、

機關誌「洋々社談」を創刊。「文藝類纂」（明治十一年刊）等を著は

した他、「古今事類苑」編纂事業にも参劃。その博識を以て那珂通高と

並ぶも、晩年狂言發し幽居。また縁かたの藏書家として知られたが、六

年暮れの火災で全焼、再度鬼書に勵み、歿後大槻如電おおくまのを通じて東京書

籍館（のち東京圖書館）現國立國會圖書館に遺贈せられた。

文部省教科書中「小讀本」（卷之一・明治七年五月文部省。十五年一

月三十一日編・山中市兵衛編刻）、「小綴字書」（明治七年八月文部

省。九年六月岡山・世良田益太郎編刻）等を手掛けた。玉林晴朗「傳

記聚芳」（昭和十七年二月五日日本青年教育會出版部）所收「國學者

神原芳野の語」が

詳しい。

明治七年五月
學小讀本
文部省

明治七年五月
學小讀本 卷二
文部省

讀本卷之二
神原芳野 編次
第一
大陽ハ日輪といハ大陰ハ月輪といハ金星或ハ遊星といハ其數多といハト其申最モ大なる者水星金星地球火星土星天王星海王星のハリ此ハ星ト皆世界ナリ惑星ト稱ヒテ大陽を繞ルを衛星といハ地球ト後ハ月ト即大陰なり水星ト後ハ金星ト土星ト天王星トハ海王ト一

學小綴字書